

## 5

## 学生スタッフの班活動

学生スタッフは、センターの活動や認知度を高めたり、センターの環境を整えたり、また、コーディネーションのスキルアップなどを目的に、班に分かれて活動しています。

## アクティブ班(深草)

## 通 年

わらい

センターの活性化を主な目的とし、ボランティア活動への参加を通して、学生スタッフのコーディネーション力と意識の向上を図る。また、活動や様々な情報をポップにしてセンターに貼り出すことで、来室者や学生スタッフへの情報共有を促す。

内容

- ・4~5人のグループに分かれて学生スタッフがあまり参加していないボランティア活動を中心に参加し、その情報をまとめ、学生スタッフに共有
- ・季節のポップや配架用のポップ等を作成、掲示
- ・学生スタッフプロフィール帳の作成

班人数	25名
-----	-----



## コーデ班(深草)

## 通 年

わらい

学生スタッフのコーディネーション力を向上させる。相談対応シフト中の時間の使い方をより良いものにする。

内容

- ・前期シフトのふりかえりと自己採点の実施、来室者対応マニュアルの更新
- ・コーデに関する悩みや改善点を募集し、対応
- ・センター前にチラシラックを設置し、毎月おすすめボランティアを配架
- ・窓に外向けの広報ポップを掲示
- ・相談対応シフトの作成、貸出用傘の管理 など

班人数	26名
-----	-----



## 広報班(深草)

## 通 年

わらい

龍大生と教職員に対して龍谷大学ボランティア・NPO活動センターが実施している活動を、各種広報媒体を通して認知してもらう。

内容

- ・広報誌「ボラゴン」を年2回発行
- ・ボラセンタイムズを年3回発行
- ・SNS（センターX, Instagram）への投稿：週1回程度
- ・CaféRyukokuのホワイトボードでのセンター事業の広報 など

班人数	26名
-----	-----



## コーデ班(瀬田)

### 通 年

ねらい

コーデ日誌やマニュアルの作成、模擬コーデ企画などを通して学生スタッフのボランティアコーディネーション力向上のサポートをする。学生スタッフの、普段の相談対応シフト活動を、より有意義なものにすることを旨とする。

内容

- ・学生スタッフの相談対応シフトの調整（前期・後期）
- ・模擬コーデ週間（前期）、模擬コーデ月間（後期）を設定
- ・相談対応シフト中の活動のふりかえりの呼びかけ・集計
- ・コーデ日誌の管理
- ・相談対応マニュアルの作成
- ・チラシ配架用タグの作成 など

班人数 13名



## 広報班(瀬田)

### 通 年

ねらい

主に龍谷大学の学生に向けてボランティア情報等を発信することによって、ボランティア・NPO活動センターの存在をアピールするとともに、ボランティア啓発を行う。

内容

- ・広報誌「ボラポの日記」を3回発行（5月、7月、9月）
- ・学生スタッフXの投稿：24件、Instagramの投稿：24件
- ・センター前の掲示板の装飾を季節に応じて実施

班人数 13名



## 環境整備班(瀬田)

### 通 年

ねらい

センターの環境を整備する事で、学生スタッフの活動の円滑化、及び来室者の快適な利用を目指す。

内容

- ・センターのウェルカムボードを作成し、キャンパス内に設置
- ・リユース傘貸し出し時のセンター紹介マニュアルを作成
- ・次年度以降に向けて環境整備班の活動のマニュアル作成
- ・センターの環境美化および大掃除の呼びかけ

班人数 14名



# 発掘し隊(瀬田)

## 通年

ねらい

センターに寄せられるボランティア活動に参加して、活動の様子や魅力などチラシなどからは得ることができない情報を得る。また、それらの情報を可視化してボランティア相談に活かす。

内容

- ・以下の活動に体験参加するとともに、スタッフの方からお話を伺い、それらを発掘ノートにまとめました。
- ①くらら庵・ゆらら庵：子どもや若者の居場所支援
- ②藪の傍：竹林整備、メンマづくり
- ③放課後等デイサービス柗の月希：障がい児支援（学習支援・遊び）
- ④東山アートスペース：障がいのある方のアトリエ活動のサポート
- ⑤放課後等デーサービスぐっどらいふ・ぐっどたいむ：障がい児支援
- ・その他、学生スタッフが参加したボランティア活動についてボランティアノートの作成を呼びかけ、7件作成。

班人数	19名
-----	-----

